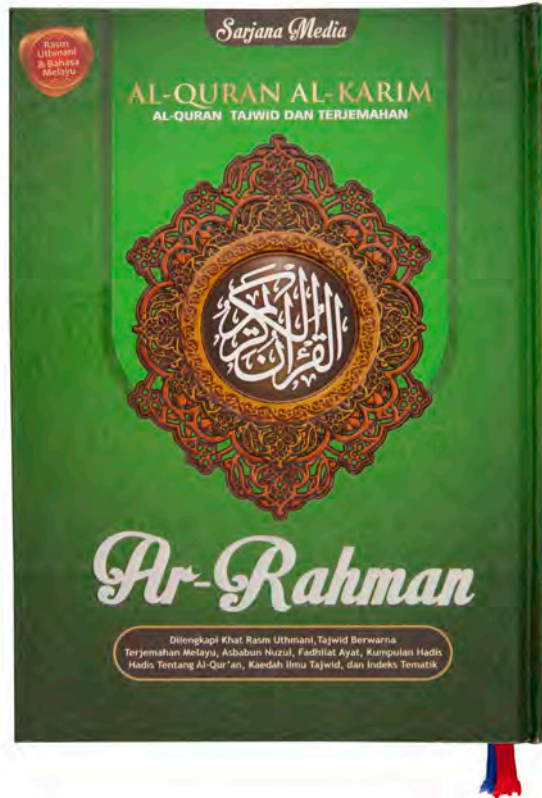


コーラン（クルアーン）

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0101

マレーシア



※ 色が違う場合があります



コーランとは「(声に出して)よまれるもの」という意味であり、韻を踏んだ^{いん}文体になっている。神がアラビア語で伝えたため、他の言語に翻訳したものはそのままの神の言葉とはみなされないが、内容を理解するために各地の言語で「解説」が付される。マレーシアでは、ジャウィ(アラビア文字つづりのマレー語)や現在使われているアルファベットのマレー語の「解説」がついたコーランも出版されている。

【信田先生からのひとこと】

コーランを声に出して読んでいる様子は、仏教でのお経のような感じで、その音色は神聖で美しい響きがあります。

コーラン台（クルアーン台） G0102

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

マレーシア



イスラームの聖典コーランを広げて置き、声に出して読むために用いる道具。かつて、マレーシアでは、子どもたちは、日本の寺子屋のように、先生の家に通ってイスラームを学んでいた。その際、椅子ではなく、床に座ってコーランを読むため、コーラン台は必要であった。現在でも、聖典であるコーランを置く台は、装飾が施されたりするなど、大切に扱われている。

【信田先生からのひとこと】

いわゆる書見台なのですが、この台に置いて本を読むと賢くなるような気になりますね。

じゅず
珠数

G0103

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

セネガル・ウズベキスタン・
中国・パキスタン



※ 種類が違う場合があります

イスラームで使う数珠。神様をたたえる言葉を唱えた回数を数えるために使う。イスラームの神アッラーには99の別名があるとされ、玉の数は基本的には99個（大）だが、33個（小）のこともある。玉の数が決まっているので、指を折って回数を数えるよりも、お祈りに集中することができる。



三島先生からのひとこと

数珠の代わりに数字が出る数取器（人数を数えるときなどに使うもの）を用いる人もいます。便利だからということですが、宗教的な厳かさがないように感じるのは私だけでしょうか。



横山先生からのひとこと

中国語では数珠のことを「念珠（ニエンジュ）」と言います。中国語を使うムスリムである回族は、他の宗教の数珠と区別して、普通は「念珠」と呼ばずに、ウルドゥー語で「タスピーフ」と呼ぶそうです。



吉岡先生からのひとこと

数珠と言っても、高いのから安いのも、材質も色もデザインもさまざまです。たとえプラスチックの安物を使っていたとしても、真剣にお祈りする上では何も問題ありません。



寺村先生からのひとこと

解説で「玉の数は決まっている」と書きましたが、玉を束ねている箇所にも数個使われていたり、33個または11個ごとに形の違う玉が入っていたり、数珠によってもけっこう数が違ったりします。みなさんが手にされた数珠は、玉の数は何個だったのでしょうか？

今中先生からのひとこと

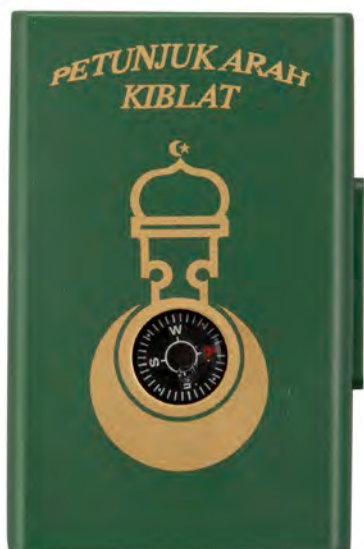
中国西北部の陝西省西安市では、高級感があるという理由から、メノウを使った中国産のものが人気だそうです。

キブラ・コンパス

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0104

ドイツ・イラン



ムスリムの礼拝は聖地メッカの方角を向いておこなう。世界のどこにいてもメッカの方角（キブラ）がわかるように、旅行中のムスリムはキブラ・コンパスを持ち歩く。コンパスの外側のダイヤルを回し、現在地の地域番号をN極に合わせることでキブラがわかる。緑のものは、ドイツのトルコ系ムスリムのお店で買ったもの。

【山中先生からのひとこと】

中東のホテルや公共施設の礼拝室には、キブラの方角を示す矢印が壁などに貼られているので、キブラ・コンパスは必要ありません。また最近では、祈りの時間にアザーン（礼拝への呼びかけ）が鳴り、キブラの方角を示すデジタル時計やスマートフォンといった便利な道具があります。

【黒田先生からのひとこと】

赤いコンパスは、イラン国内の主要な都市名が書かれており、イラン国内仕様です。

礼拝用敷物

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0105

パキスタン・中国



※ 色柄が違う場合があります



1日5回の礼拝をするときに使う、個人用の小さなマット。礼拝は、モスクの近くにいる場合にはモスクに行き、皆で大きなカーペットの上ですが、旅行中であつたり、職場にいたりしてモスクまで行けない場合や、一人で礼拝するのが好きな人は、こういった携帯用のマットを敷いて、その上でおこなう。こういった敷物は、左右対称で、カアバ神殿や、モスクなどがあしらわれたデザインのものが主流である。

使用方法： メッカの方向に向かって礼拝するために、キブラで向きをしっかりと確認して設置する。右の方の敷物は礼拝用敷物の上に敷いて用いるが、そのまま敷くだけでなく、半分に折って使うこともある。

【吉岡先生からのひとこと】

パキスタンのホテルには、多くの場合、こういった個人で使うサイズの礼拝用敷物が用意されています。礼拝をするときは床や地面に頭をつけますので、清潔な敷物が欲しいですね。

【横山先生からのひとこと】

礼拝用の敷物は、イスラームに関連した図柄で、美しくデザインされたものが多いという印象です。ムスリムでない私は、礼拝をしている人に出会うと、遠くから見守るだけですが、メッカの方角に向かい、小型の礼拝用敷物の上で礼拝をすることで、そこに静かな祈りの空間がつけられているような感じがします。

カレンダー

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0106

カザフスタン



イスラーム暦は、預言者ムハンマドがメッカからメディナに移住した年（西暦622年）を紀元元年として数える。このカレンダーはイスラーム暦1437年のもので、西暦2015年10月14日～2016年10月1日にあたる。イスラーム暦は月の満ち欠けを基準にしているため1ヶ月は29日または30日で、西暦よりも毎年11日程度早まっていく。^{だんじきづき}断食月や犠牲祭などの時期を知るために、イスラーム暦は欠かせない。

【藤本先生からのひとこと】

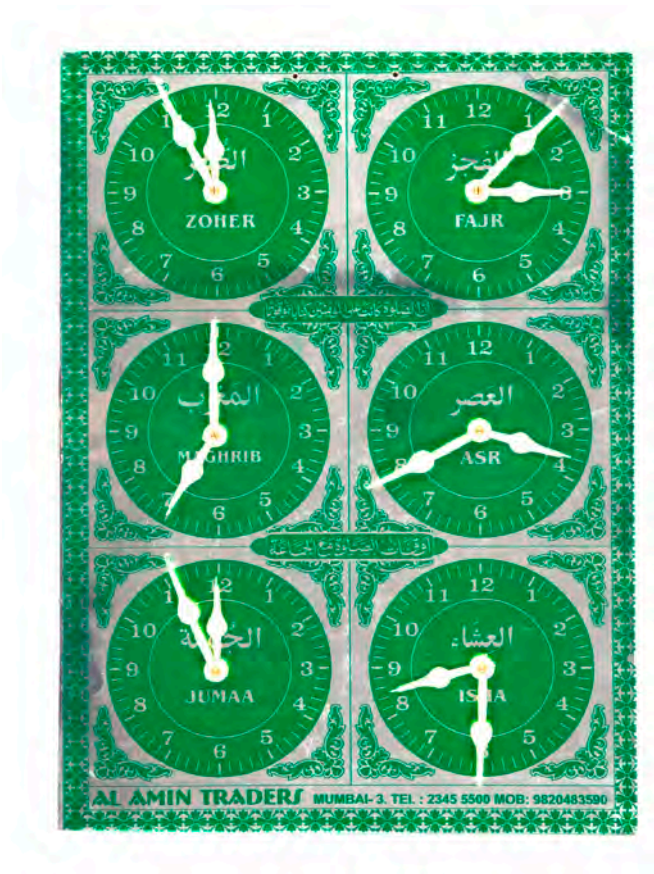
中央アジアの人たちは、ふだんはイスラーム暦とは関係なく暮らしていますが、断食月（ラマダーン）や犠牲祭のときにはこのカレンダーが重宝されます。モスク近くのイスラーム用品店で、ベールやお守りなどと一緒に売られています。

礼拝時刻表

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0107

インド



※ 色が違う場合があります



1日に5回あるお祈りと金曜日の集団礼拝の時刻を知らせる時計盤。お祈りの時刻は日の出や日の入りの時刻によって少しずつ変わってゆくの、それに合わせて人びとに知らせる必要がある。現在はデジタル時計が発達したので、この資料のような時刻表はあまり使われなくなったが、かつてはインドのモスクごとに置かれ、これに従ってお祈りが行われていた。

【三尾先生からのひとこと】

お祈りするべき刻限は、どこでも同じ時刻というわけではなく、その場所ごとに異なる日の出や日の入りのタイミングに合わせて決まります。お祈りは正しい刻限に正しい方法で行わないとならないので、正確なお祈りの時刻を知ることとはとても大切です。

モスク型時計

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0108

パキスタン



※ 色が違う場合があります



モスクの形を模した、すえおきタイプの時計。指定した時間に、礼拝時刻を知らせる呼び声である、アザーンを流すことができるようになっている。その仕組みは日本で私たちが使っている、目覚まし時計と同じだが、実際のモスクから聞こえて来るアザーンが、どの時間帯の礼拝かによって異なる文言を唱えるのと同様に、この時計にもいくつかの種類のアザーンが録音されているようだ。

【吉岡先生からのひとこと】

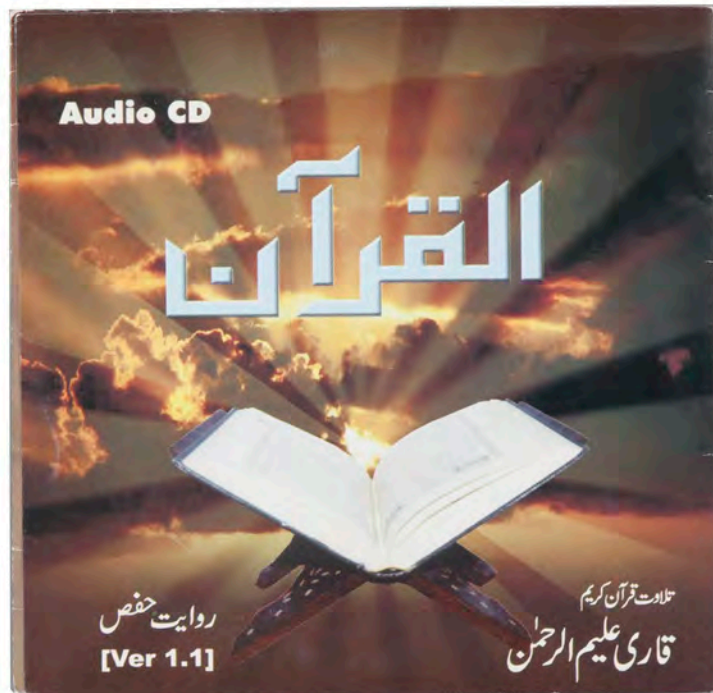
モスクから実際に聞こえて来るアザーンは、どこにいても聞こえるようにと、スピーカーなどを使って、とても大きな音で放送されます。ムスリムではなく礼拝をしないわたしも、パキスタンで生活をしている時には、明け方の礼拝のアザーンに毎日たたき起こされています。

コーランのCD

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0109

パキスタン



イスラームの聖典であるコーランはアラビア語で下された。様々な言語に翻訳されている聖書などとは異なり、アラビア語のコーランしか聖典であるとは見なされない。これは、そんな聖典コーランを、朗読の上手な人がよみ上げている音声を録音したCDである。いまだにパキスタンではカセットテープも主流だが、最近パソコンやCDカーステレオが普及してきたので、CDでの販売も増えた。

【吉岡先生からのひとこと】

ムスリムの誰もがアラビア語を知っているわけではないけれど、アラビア語でのコーランの朗読は「ありがたい」音声として好んで聞かれます。日本でも、仏教のお経のCDなんかがありますね。いずれはダウンロード販売になるのかな？

水差し

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0110

セネガル・中国



※ 色が違う場合があります

ムスリムはお祈りの前に、決まった作法で手足や顔などを水で清める。この水差しはやかんの形をしているが、火にかけることはなく、水を入れてお浄めきよめるときに使う。またお手洗いで紙を使わないので、これを持ってゆくと重宝する。ちなみにムスリムは左手を不浄なものに使うので、食事や握手はかならず右手でおこなう。



三島先生からのひとこと

この水差しに入る水量だけで、お手洗いで用をすますのは難しいと思いました。最初は全部の水を便器に流してしまいましたが、慣れてみると十分すぎるくらいです。しかし「不浄な左手」を洗うとき、左手に石けんをもち、右手で水を垂らし、右手を使わずに左手だけで洗うのにはコツがいります。



横山先生からのひとこと

最近では自宅にシャワールームを完備したお宅が増えてきています。次第に水差しが使われなくなっていくかもしれませぬ。

今中先生からのひとこと

この金色の水差しに記されている「臨夏りんか」とは、中国の中でも回族が多く暮らすことで知られる、甘粛省臨夏回族自治区、もしくはその中心都市である臨夏市のことを指すと考えられます。

礼拝用印

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0111

イラン



イランやイラクの多くのムスリムは、礼拝の際に地にひれ伏すために、このような土や泥を固めた印章を用いる。彼らの聖地イラク南部のカルバラの土が好まれるが、他の聖地の土や泥のものも数多くある。

この印章の中央には、彼らにとってとても大切な、(1) 唯一神アッラーと (2) 預言者ムハンマド、(3) ムハンマドの娘ファーティマと (4) 従兄弟で娘婿アリー、そしてアリーとファーティマの息子で (5) ハサンと (6) フサインの名前が書かれている。

【黒田先生からのひとこと】

個人で持ち歩いている人もいますが、イランのモスクに行けば大抵かりることが出来ますよ。

また、高齢者など身体の問題で椅子に座って礼拝する人のために、卓上に置く礼拝用印章も売られています。

お香と香炉

G0112

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

中国



中国の回族の人々の宗教活動では、とくに葬式を中心に、お香を^た焚く姿がよく見られる。それ以外にも、コーランをよむときにお香を焚きしめたりする。それは、お香を焚くことで、その空間を^{きよ}浄めることができると考えられているためである。また、その際にはしばしば香炉が用いられる。香炉には、金属製のものだけでなく、陶製のものもある。

【今中先生からのひとこと】

宗教活動で用いられるお香の種類はとくに決まっていません。北京を中心に「芭蘭香（バーランシャン）」というものが広まっており、ムスリムのお香として人気を博しています。

【横山先生からのひとこと】

中国では線香は一般に広く使われます。ムスリムの線香立てにはアラビア文字が刻まれています。中国では、ムスリムの人びとは、それ以外の人びとと比べて、芳香性が強めの線香を好んで使っているように思います。

聖者ポスター（セネガル）

世界のムスリムの暮らしー日常の中の祈り

G0113

セネガル



※ 図柄が違う場合があります

セネガル人の95%はムスリムで、4つの大きなイスラーム教団がある。それぞれティジャーニア、カディリーヤ、ライエン、ムリッドといい、教団の教祖や指導者が聖者として崇拜されている。これらのポスターは教団の教祖や著名な導師の写真である。セネガルでは、人びとは自分が所属する教団のポスターを家や車の中に飾っている。

【三島先生からのひとこと】

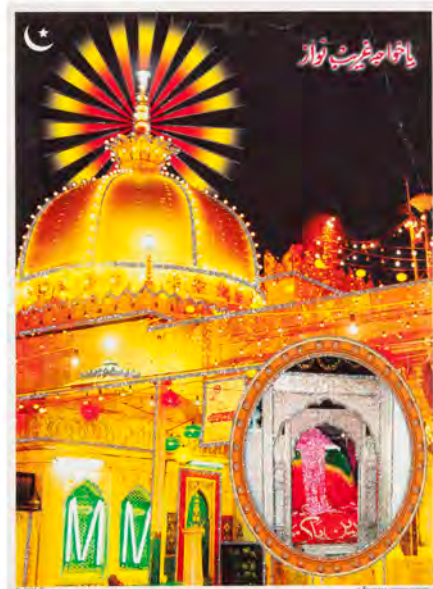
一神教というのは、ただひとつの神を信じるもので、それに対して多神教では複数の神をあがめるのです。しかし、セネガル人の多くは一神教を奉じながら、呪術的なものも信じています。無事や安全を願い、お守りを身に着けたり、祈祷師のもとに通ったりする人も少なくありません。

ポスター（インド）

G0114

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

インド



※ 図柄が違う場合があります

(a)と(b)は、メッカや預言者ムハンマドが埋葬されているメディナにちなんだ絵や写真のポスターである。また(c)のひょうたんのように見えるものは、預言者ムハンマドのサンダルと伝えられるはきものをかたどったものである。このようなよく知られたイスラームの聖地や聖人以外にも、(d)の聖者が眠る廟のポスターのようにムスリムの間では地域に根ざした聖者が大切に扱われてきた。

【黒田先生からのひとこと】

メッカやメディナといった聖地を実際に訪れるのは難しいので、ポスターを家に貼ります。聖地への強い憧れを感じさせますね。

アラビア文字のポスター

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0115

インド



a



b



中央の区画には神のさまざまな別名が書かれ、まわりにはムスリムとなるための信仰告白、またコーランの章句が書かれている。こういったポスターを室内に貼り、朝起きたときにじっと見つめると良いことがあるとされる。写真左 (a) は特に商売繁盛、右 (b) は厄除けに効果がある。

【三尾先生からのひとこと】

イスラームでは神だけではなく人や物、風景などを描くことは禁じられていますし、唯一神アッラー以外に祈ることも禁じられています。それでも何かにすがりたい気持ちは誰でもが持つことでしょう。こういうポスターはその気持ちとアッラーの教えとのぎりぎりの妥協の産物と言えるかも知れません。

各国のお守り

G0116

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

中国・マレーシア・パキスタン・
ウズベキスタン・ドイツ



アッラー、預言者ムハンマドの名、あるいは聖典コーランの章句しょうくが書かれたお守りを身に着けたり、身近に置いたりする行為は各国のムスリムに共通しているが、素材や形状は地域によってさまざまである。たとえば、中国のもの(a, b)は、組ひもとふさが付いており、漢文化の影響が見て取れるし、ウズベキスタンのお守りの細かい木彫りの細工(i, j)も、その地域に独特なものである。



横山先生からのひとこと

アラビア文字で書かれている点が中国一般のお守りとは異なりますが、「中国結び」と呼ばれる赤いひも飾りをつけた部分は、中国共通です。(a, b)



信田先生からのひとこと

人々は、許される範囲で、何かを身につけ、神のご加護を賜りたいと思う気持ちがあるのです。(c)



寺村先生からのひとこと

ウズベキスタンでは、お守りはバザール(市場)や観光地のおみやげ物屋でふつうに売っていました。(g~j)

今中先生からのひとこと

交通安全のお守りはもちろんのこと、勉強機の電気スタンドからつり下げる学業成就のお守りなど、そのご利益りやくや意匠、書かれている文字もさまざまです。



吉岡先生からのひとこと

「文字」がメインの作りになっていますね。パキスタンの灰色の(f)は、「神(アッラー)」とだけ書いた文字を立体化したものです。



山中先生からのひとこと

(k)は、つけたままシャワーもできる防水!!

ペンダントトップ

世界のムスリムの暮らしー日常の中の祈り

G0117

イラン



ペンダントトップに描かれた本をもった人物は預言者ムハンマド、反対の面の人物は預言者ムハンマドの従兄弟にして、娘婿のアリーである。アリーはイランやイラクの多くのムスリムの宗派において特に重要な宗教指導者である。イスラームでは預言者ムハンマド肖像を描くことについて、宗教学者を中心に今も昔も否定的な見解が示されることが多いが、時にはこのように肖像画が描かれてきた。

【黒田先生からのひとこと】

金でできた大きなものもあります。もちろん、とても高価で数十万円もします。反対にプラスチック製の安物を見たことがありません。ムハンマドの肖像を描くことに否定的な意見が多いですが、描く方にとっても、軽い気持ちで描いているわけではないのです。

ステッカー

G0118

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

インド・マレーシア・
中国・パキスタン



a



b



c



e



f



h



d



g



アラビア語でコーランの章句しょうくが書かれた各国のステッカー。英語や中国語が併記されているものもある。



三尾先生からのひとこと

文字をデザインのように書くというアイデアはイスラーム文化で特に発達しました。読めなくてもなぞってみて、どうやって書いたのか想像してみると楽しいかも知れません。



信田先生からのひとこと

マレーシアのムスリム、マレー人は、車の窓や家の壁などに、こうしたステッカー (b) を貼ったりします。お守りの意味もあるのでしょう。



横山先生・今中先生からのひとこと

中国では、アラビア文字に加えて漢字が一緒に書かれているものが多いです。(c,d) それらが家の外の塀や門などに貼られているのを見ると、ムスリムの家だとすぐわかります。ムスリムの食品を売る店やレストランには、「清真食品」という漢字のプレートが掲げられています。「ハラール食品」という意味ですね。



吉岡先生からのひとこと

車のステッカーは、車内からガラスに貼り付け、外から見るように作られています。どちらを見ても、こったデザインで文字をあしらっているステッカーばかりなのが、神さまを絵に描いたりしないイスラームならではのですね。(h)



中国の回族の人々は、モスクの運営費や宗教行事に関する諸経費、イスラームの教えを広めるための出版物の刊行費用などへの喜捨（寄付）を「乜帖（ニエティエ）」と呼ぶ。さらには、宗教活動の際、コーランをよんでくれた人々にニエティエとしてお金を渡す人々もいる。かつては、現金をそのまま、もしくは白い紙などに包んで渡していた。近年になって、このような専用の袋が用いられるようになってきている。

【横山先生からのひとこと】

中国では漢族を中心に、日本で言う「ご祝儀袋」を使う習慣があります。いろいろな場面で、その中にお金を入れて、心づけを渡します。ムスリムの信仰と結びついた「喜捨袋」も、ご祝儀を贈る習慣が発達した中国の影響を受けているのかもしれない。

【今中先生からのひとこと】

コーランをよんでくれた人々にお金を渡すことについては、回族の間でも賛否両論です。このような意見の違いは親戚づきあいにも影響するため、考え方の異なる家同士では互いに結婚を避ける地域もあります。



※図柄が違う場合があります

アラビア文字による書道芸術、すなわちアラビア書道の作品が書かれた扇子。アラビア書道は、イスラーム世界の拡大とともに各地に広がり、さまざまな書体が生み出されてきた。中国の回族にはスィーニー体（中国書体）という書体が伝わっている。この扇子のように信仰告白（シャハーダ）の文句が書かれるほか、コーランの一節などが一面に書かれ、反対面にはその中国語での解釈が書かれている。

【横山先生からのひとこと】

このような扇子に書かれたアラビア書道は、いかにも中国的ですね。中国のムスリムの間では、アラビア文字が読める人の割合が高くないので、アラビア文字に漢字を加えたアラビア書道作品も多く見られます。

【今中先生からのひとこと】

この扇子の制作者は、中国国外でも活躍する回族のアラビア書道家です。海外へのお土産に最適な一品とのことで、制作者の経営する宗教用品店でも外国人観光客が好んで購入しているようです。

アラビア文字練習帳

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0121

インド



インドのイスラームの基本を教えるための学校（インドではマドラサと呼ばれる）で子どもたちがアラビア語の読み書きを練習するために使う教科書。アラビア語のアルファベットをなぞって書いて覚えられるようになっている。

【三尾先生からのひとこと】

イスラームではアラビア語が神の言葉です。コーランはアラビア語で書かれていて他の言葉に翻訳することは出来ないし、お祈りもアラビア語で行います。

インドではアラビア語を母語とする人はとても少ないので、学校に行ってもきちんと習わなければなりません。子どもたちはアラビア語を習いながら、コーランが暗誦^{あんしょう}できるように一生懸命勉強します。

コーラン練習板、筆

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0122

セネガル



セネガルの子どもたちは、小学校のほかに「コーラン学校」に通い、イスラームを学ぶ。セネガルでは学校教育はフランス語でおこなわれるが、コーラン学校では導師^{どうし}（イスラームへの信仰があつく、教義について深い知識を持ち、布教活動などを務める宗教家）のもとで練習版に墨を使ってアラビア語で書いたコーランを繰り返し唱えて覚える。

【三島先生からのひとこと】

コーラン学校では、コーランを一冊まるごと暗記します。私の知人で、小学校へ上がる前に親元から離れてコーラン学校に預けられた人がいます。この人は大人になってパソコンを盗まれたときも、書きあげていた本の下書きも一緒に失ってしまったのに、もう一度すべてを書き直したというすばらしい記憶力の持ち主です。コーラン学校で^{あんしょう}の暗誦が役に立ったのかもしれませんが。

もくよく
絵本 『沐浴とお祈り』

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0123

ドイツ



ドイツで暮らすムスリム移民の子どもたちが、祈りの作法について学ぶための絵本。祈りの前の身の清め方、祈りの時の動作などが、イラストとともにドイツ語で解説されている。2～5歳向けとあるので、学校に入る前の子どもたちが家で読み聞かせてもらうものだろう。

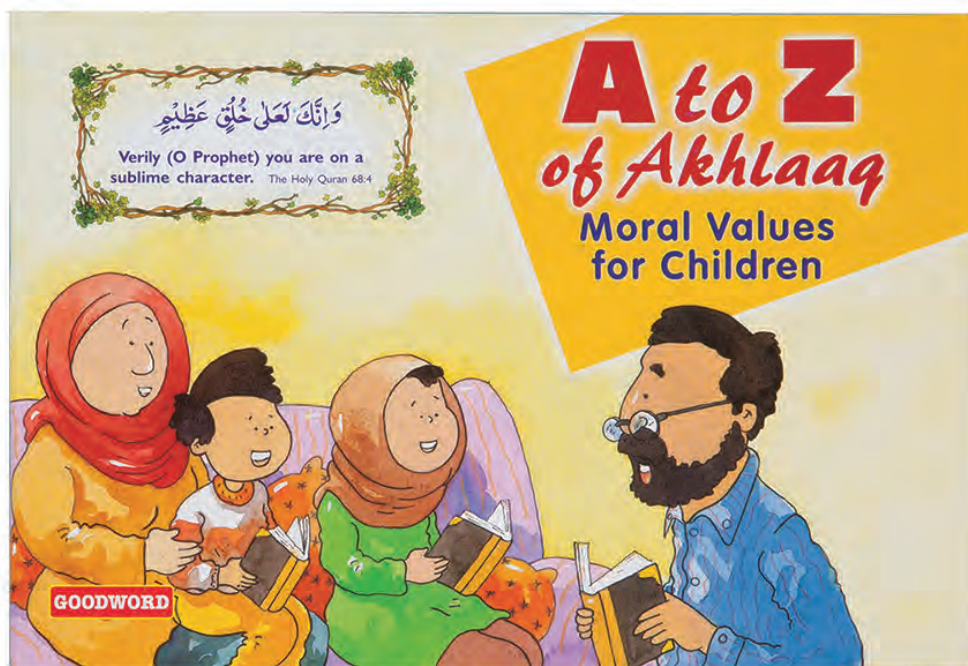
【山中先生からのひとこと】

ドイツでは学校の時間割に「宗教」の授業がありますが、それはキリスト教だけです。ムスリムの子どもたちは、家庭でイスラームについて学ぶことがほとんどです。

『礼儀についてのあれこれ りんり 子どものための倫理書』

G0124
パキスタン

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り



英語で書かれた、「正しい行い」を指南する本。「Aは、私たちの信仰におけるアフラーク（倫理；akhlaaq）のA。正しい道を歩むために、大切なこと」「Bは、やってはいけないかげ口（backbiting）のB。審判の日に、陰口の数だけ善行が帳消しにされちゃうぞ」「Cは、心身や魂の清らかさ（cleanliness）のC。身の回りをきちんときれいにするのも、忘れないように」と、AからZまでの26項目で教えてくれる。

【吉岡先生からのひとこと】

良いことがたくさん書いてありますが、実際に「正しい行い」を守れている人は、ずいぶん少ない気がします。知っていることと、分かっていることとは、別なのですね。



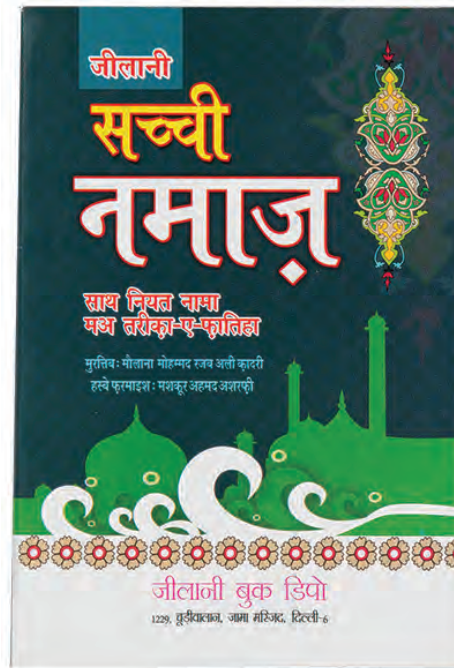
中国に暮らすムスリム、とくに中国語を母語とする回族の人々を対象とした、アラビア語とイスラームについて学ぶためのテキスト。全部で39冊のシリーズで、乳児向けにイスラームを紹介したイラスト入りのもの（1冊）にはじまり、幼児向けのアラビア語とイスラームの入門編が全6冊、就学前児童向けの読み物（全6冊）、そして初級・中級・上級（いずれも全8冊）、さらには単語集（全8冊）という構成になっている。

【横山先生からのひとこと】

アラビア語の発音は、母語である中国語とは全く違いますし、漢字に慣れている回族がアラビア文字を学ぶのは、かなり大変なことだと思います。

【今中先生からのひとこと】

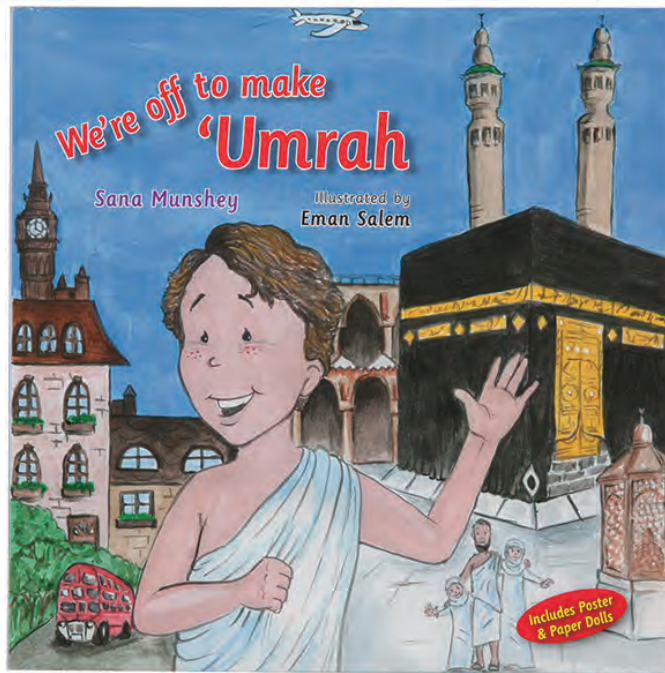
以前はこのような音声や映像の教材がCDなどのさまざまな形で売られていました。最近ではダウンロード販売になってきています。



毎日5回行うお祈りや集団礼拝の時に唱える言葉をインド北部の大多数の人々の母語であるヒンディー語で記した本。お祈りの姿勢やお祈りの前に行うべき身の清め方、食べるために動物を殺すときの正しい方法やその時に唱える言葉など、ムスリムとして生活するための基本がわかりやすく解説されている。これもイスラームの基本を教えるための学校（インドではマドラサという）で教科書として使われる。

【三尾先生からのひとこと】

アラビア語を母語としないインドの人々のために、お祈りの言葉の発音やお祈りの作法をわかりやくヒンディー語で解説した本です。この本一つとっても、お祈りがいかに厳密に守られているかがわかります。



本書は、ウムラ中の儀礼の流れや心構えについて、子ども向けに分かり易く、韻を踏んだ文章で解説している。サウジアラビアのメッカ巡礼「ハッジ」は、ムスリムが一生に一度は行うことが義務付けられている儀礼である。「ハッジ」はイスラーム暦のハッジ月に5日間かけて行うのに対し、「ウムラ」はハッジよりも行う儀礼の数が少なく、いつでも行うことができることから「小巡礼」とも呼ばれている。ハッジは多くのムスリムにとって憧れの儀礼だが、たくさんのお金と時間がかかる。その上、近年は交通手段の発達によりメッカ巡礼を行う人の数が増加したため、サウジアラビア政府はハッジ巡礼者数を国ごとに制限している。その点、一年中、より短期間で行えるウムラはとても人気がある。

【相島先生からのひとこと】

この本を購入したマンチェスター市には、ウムラとハッジを扱う旅行代理店がたくさん並んでいます。イスラーム研究者であればメッカ巡礼を体験してみたいところですが、メッカを訪問できるのはムスリムだけです。



子どもたちがイスラームの教えを学びやすいように、このような本が多く書店に並んでいる。コーランの解説から始まって、お祈りの仕方や意味などの実際的な事柄まで、初心者でも分かりやすいように、イラストを付けて、丁寧に説明されている。マレーシアでは、ムスリムのマレー人児童は、学校の宗教の授業でイスラームについて学ぶ。

【信田先生からのひとこと】

マレーシアでは、幼稚園や学校に通う時に、女の子たちはベールを着用しています。小さな頃からイスラームの教えを学び、イスラームの教えに従って生きることが普通のことになっているのです。

イスラーム教育本

G0129

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

日本



非ムスリムにもイスラームについて理解してもらうために、モスクやイスラーム文化センターのなかには、こうした冊子を独自に作成し、無料で配っているところもあります。青い冊子はイスラームでは何を信じているのか、何をしなければならないのか、そして千数百年の歴史を誇るイスラームが世界に広がりどのような文明を築いてきたのかを解説している。もう一つは、預言者ムハンマドが生前話した言葉のなかから特に重要と思われる40の言葉を選びだしたものである。

【黒田先生からのひとこと】

日本には14万人を超えるムスリムが暮らし、100カ所以上のモスクがあるとされています。世界のイスラームについて学ぶことは、今や自分たちの社会を学ぶことでもあるのです。

学習カード

(コーランカードゲーム：アルファベット)

G0130

ドイツ

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り



ドイツで暮らすムスリム移民の子どもたちが、アラビア文字とその発音の仕方を学ぶためのカード。幼い頃に移住してきたり、ドイツで生まれたりした移民2世の子どもたちは、家で親の母国語であるアラビア語、トルコ語、ペルシア語などで会話をしているにもかかわらず、学校ではアルファベットしか習わない。コーランはアラビア語で書かれているため、聖典を読むために必要なアラビア文字をこうしたカードなどで、遊びながら覚える。

【山中先生からのひとこと】

「; はズッペ (ドイツ語でスープ) のズ」といったように、その文字の発音を子どもたちになじみのあるドイツ語の言葉とそのイラストと結び付けているところが興味深いです。カードの絵と言葉自体は、コーランとまったく関係ないからです。

ミスワーク と ミスワーク歯みがき粉

G0131

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

日本



ミスワークは、古代から歯ぐきを強くする薬草として知られ、歯をみがくために用いられてきた。コーランの解説書であるハディースで、礼拝前にこれで口の中を清めるようにと推奨されており、ムスリムの身だしなみに欠かせないものになっている。イスラーム世界の医学者たちの中には、これを使えば口の中が清潔になるばかりではなく、みごとな弁舌の力も手に入れられると書き残している人もいる。最近では、ミスワークの成分を含んだ歯みがき粉も売られている。

使用方法： 樹皮をむいて、中身を水でぬらしながら、少しずつほぐす。するとブラシ状になるので、水をつけてこれで歯をみがく。水以外はなにもつける必要はない。練り歯みがきは、茎に含まれる成分を抽出して使っているもの。独特のきつい風味があるので、苦手な人もいる。

【菅瀬先生からのひとこと】

はじめてパレスチナに行った大学3年生のとき、エルサレム旧市街の市場でみかけたのが、このミスワークとの最初の出会いです。石けんやカミソリなどの身だしなみ用品を扱う店で、輪ゴムで1ダースほどたばねて売られていて、最初はまさか歯ブラシだとは思いませんでした。

「タバコのヤニ取りに最高だよ!」と、店のおじいさんが言っていました。

男性用帽子

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0132

インド・ウズベキスタン・ドイツ



敬虔なムスリム男性がかぶる帽子。いつもかぶっている人もいれば、お祈りの時だけかぶる人もいる。かぶらないで祈る人もいる。帽子の形や刺繍の模様などは、国や地域、宗派によっても異なる。



三尾先生からのひとこと

モスクでのお祈りには

しわも汚れもない服装で出かけることになっています。

この帽子は正装用なので

プラスチックで作った型の上にかぶせて

型くずれしないようにしています。



寺村先生からのひとこと

この帽子の刺繍のモチーフは、

「唐辛子をイメージ」したものだそうです。

街のバザール（市場）で買ったのですが、大量のこの帽子が大きなビニル袋に詰め込まれて、お店の前に山積みになっていたのが印象的でした。



山中先生からのひとこと

中東に行くと、こうしたつばのない丸い帽子をかぶっている男性を街中でたくさん見かけますが、ドイツでは、これをかぶって外を歩いている男性は、ベールをかぶったムスリム女性ほど多くはありません。

男児衣装

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0133

インド



ボホラ（インドのイスラームの一派）の男の子が、モスクにお祈りに行ったり、いろいろなお祭りや婚礼などでかけたりするときに着る衣装。シミをつけたり、しわが寄ったりしないように丁寧に保存する。

【三尾先生からのひとこと】

ボホラはインドでは少数派ですが、商業を営んだり、医師や実業家になったりして裕福な人が比較的多いことで知られています。それほど裕福でない家もありますが、どんな家でも正装用にはきれいな服を大切に保存していて、お祭りなどの時には皆おしゃれをします。

男性衣装

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0134

インド



ボホラ（インドのイスラームの一派）の男性が、モスクにお祈りに行ったり、いろいろなお祭りや婚礼などにでかけたりするときに着る衣装。

【三尾先生からのひとこと】

ボホラの人びと専用のモスクは、他の宗派とは異なっていて、金曜日にはそのモスクの近隣に住むボホラが集まってきます。正装したボホラが集まるモスクの近辺は厳粛な雰囲気になります。

女兒衣装

G0135

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

インド



ボホラ（インドのイスラームの一派）の女の子が、モスクにお祈りに行ったり、いろいろなお祭りや婚礼などにでかけたりするときに着る衣装。髪の毛を覆ってかくし、顔も場合によってはかくせるように頭巾があるが、上下の衣服はカラフルな刺繍ししゅうが施されている。

【三尾先生からのひとこと】

この衣装はボホラの女の子の晴れ着です。こういうスタイルやデザインの衣装はボホラの女の子だけが着るもので、他の宗派のムスリムは決して着ません。一目でボホラの女の子だと分かるので、こういう衣装は自分たちの存在を誇らしく主張するための手段になっているのです。

女性衣装

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0136

インド



ボホラ（インドのイスラームの一派）の女性が、外出するときに着る衣装。髪の毛を覆ってかくし、顔も場合によってはかくせるようにかぶる頭巾の形が特徴的である。ボホラの女性はカラフルな衣装を身に着けるのも特徴的で、華麗な刺繍ししゅうが施されている衣装もよく見かける。

【三尾先生からのひとこと】

こういうスタイルやデザインの衣装はボホラの女性だけが着るもので、他の宗派のムスリムは決して着ません。衣装は自分たちの存在を主張するための大事な手段になることがあります。衣装の違いからは、ムスリムの間にもさまざまな集団があることも良く分かります。

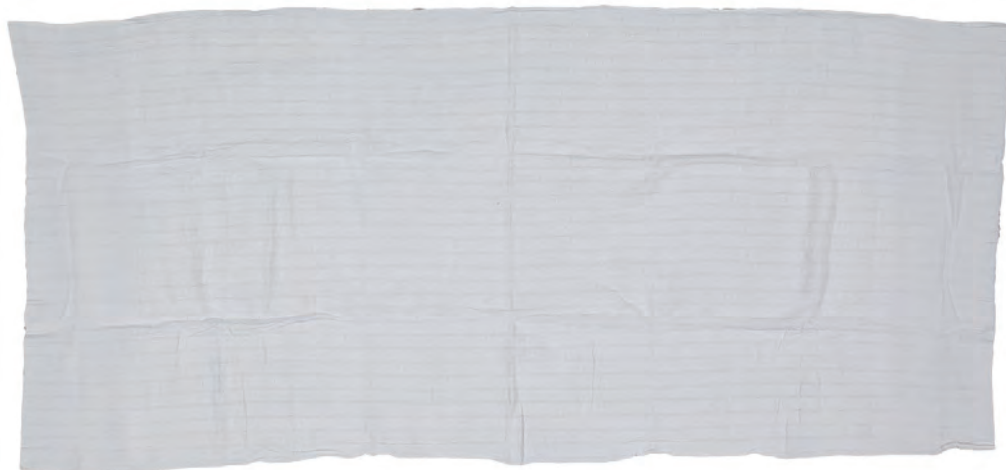
イフラー^{じゅんれい}ム

(メッカ巡礼中に着る男子用衣装)

G0137

イギリス

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り



サウジアラビアのメッカ巡礼を行う際にムスリムが着用する衣装。女性用は白いワンピースと髪を覆うスカーフであるのに対し、男性用は体を大きな一枚の布のみである。サウジアラビアに向かう空港や飛行機の中でイフラームに着替える人もいる。貧富の差や人種の違いにも関わらず、全ての巡礼者が質素な白い服装でメッカに集合し、同じ儀礼を行うことで、ムスリムとしての連帯感を高める効果が期待される。

【相島先生からのひとこと】

イフラームを購入したマンチェスターのイスラーム・グッズ店の店員さんは巡礼に出かける前に、YouTubeビデオを見ながらイフラームの着付けを勉強し、念入りに練習してから出かけたそうです。巡礼中に布がずるっとおりてきたら、困りますからね。

じゅんれい

巡礼用ウエストポーチ

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0138

パキスタン



ムスリムの義務の一つである「大巡礼（ハッジ）」は、一生に一度でいいから、イスラームの聖地であるメッカにお参りにいくことである。このお参りのときには、だれもが簡素な装いをし、アクセサリなども外さなければなりません。同じ格好をすることは、王さまも召し使いもお金持ちも貧しい人も、神さまの前ではみんなが平等なのであるということを表しています。そのとき、巡礼に必要な色々な道具などを、こういったポーチに入れて持ち運びます。

【信田先生からのひとこと】

巡礼（ハッジ）に行ったことのある人は、「巡礼者（ハッジー）」と呼ばれ、地元でみんなから尊敬されるようになります。昔は特に、一部のお金持ちか、よっぽど努力してお金を貯めた人じゃないと、巡礼に行けなかったのです。

チャードル（伝統モデル）

G0139

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

イラン



イランなどで用いられる女性の全身を覆う布。一枚布でできたチャードルは、19世紀まで礼拝の際に限って用いられていたが、ヨーロッパの服飾の影響によって女性の装いが変化するなか、外出用にも身につけられるようになった。イランで女性が礼拝をするときには、必須のアイテムである。カラフルな花柄などもあるが、黒色のチャードルはもっとも好ましい服装とされている。

【黒田先生からのひとこと】

イランの服飾市場では、既製品のチャードルだけでなく、オーダーメイドすることもできます。黒色のチャードルと一言で言っても、いろいろな柄があります。それらの布の生産地は、イランはもとより、世界各地のものがあり、当然日本で織られた布もあります。

チャードル（大学生モデル） G0140

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

イラン



イラン・イスラーム共和国では、女性は外出時に布で頭髪を覆うことが事実上義務付けられている。なかでも黒いチャードルは、もともと好ましい服装とされてきた。ところが、伝統的なモデルは、一枚布のため、正しく身にまとうためには、いつも片手で抑えておかなければならず、動きづらさもある。大学生モデルは、袖を通すことで両手が自由になるため、ある程度の動きに対応でき、勉強しやすいようになっている。

【黒田先生からのひとこと】

外から見てもわかりづらいですが、黒いチャードルにも、様々な仕立ての方法があります。実際に着てみると、それぞれの仕立ての方法に特徴があることがわかります。

女兒礼拝着

G0141

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

日本



日本に住むインドネシア人のムスリムの方よりゆずっていただいた、女の子用の服とベール。モスクでの礼拝や宗教的な意味合いのあるイベントで着る。女の子がベールをかぶり始める年齢は、家庭や文化によってさまざま。国によっては学校の制服の一部だったりするし、家庭によっては小さい時から付けていたりするが、一般的には「大人になった」とみなされたときから。

【黒田先生からのひとこと】

日本にもムスリムの子どもたちに「ぶれない心の軸」をもってもらおうと、イスラームについての知識やふるまいを伝えるため、コーラン学校や勉強会を行うモスクもありますよ。

女性礼拝着

G0142

日本

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り



東南アジアのインドネシアやマレーシア、シンガポールなどでよく見られる女性用の礼拝着。一枚布で全身を覆うタイプと、上下が別になっているタイプがある。

【今村さんからのひとこと】

東南アジア（インドネシア、マレーシア、シンガポール）のモスクでは、みんなが共用で使う礼拝着が常備されています。最近では白だけではなく、カラフルな礼拝着もあるそうです。